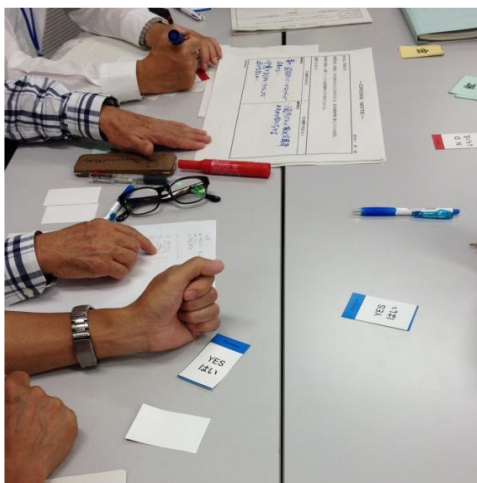


ANNUAL REPORT 2014



まちづくり&組織の活性化
ファシリテーション

SOCIAL ACTY

一人ひとりが生き生きと生活できる社会の実現を目指しています。

◆ What's Social acty ? ◆

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。
そして、社会全体もいきいきしてくる。」

そんなことを願っています。

そのためには、一人ひとりが持っている能力が発揮できること。

それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。

Facilitationは、引き出す、容易にする、という意味があります。

能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。

まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

 ソーシャル・アクティ

E-mail social-acty@m4.catvmics.ne.jp

TEL 090-3856-4960

<http://social-acty.com>

代表取締役 林 加代子

未来

市民、若者、行政

多様な人たちが

未来を描く場をファシリテート

- ◆ 広域連携に関する研究会
- ◆ 広域協議会 職員研修
- ◆ ごみ減量から未来を考える会議
- ◆ 総合計画 まちづくりカフェ
- ◆ 未来茶輪(みらいかふえ)事業 など

・自治体が連携するメリットや可能性が見えてきました。
 ・過去～現在をふまえて未来を考えると実現可能性が高くなるようです。
 ・継続して多様な人々が集まり、対話することで実現に近づく未来があることを学びました。



R&D

様々なワークショップ手法や
 対話の手法をアレンジして
 楽しく学べるセミナーを開発

Research

- ◆ 学会報告
- ◆ ごみ減量に関する意識調査

Development

- ◆ マインドアップセミナー
- ◆ 新入社員研修

など

・2013年から取り組んだHUG(避難所運営ゲーム)のアンケートをまとめ、学会で報告しました。
 ・大学生向けの就職活動に向けたマインド面の準備をするセミナーを行いました。
 ・今まで培った様々な手法を活用し、楽しく学べるプログラムを開発しました。



若者

小学生、中学生、高校生、大学生
 異世代の若者が集まって対話し
 未来を描く場をファシリテート

- ◆ 公開シンポジウム ブロックラボ
- ◆ 子ども会議
- ◆ 子どもと大人の合同ワークショップ
- ◆ ポケットパーク WS&イベント
- ◆ 未来を考えるTeens Meeting など

・未来を形にしたり、アクションプランを考えました。
 ・過去をふりかえることで、生活している地域を時間軸でとらえることができ、新たな発見がたくさんありました。
 ・若者の楽しいアイデアにパワーを感じました。



◆ 2014年 ふりかえり

未来を描くために多様な利害関係者が一堂に集まって対話する「フューチャーサーチ」を各地で行いました。これは、過去をふりかえり、現在を分析し、未来を描くという時間の流れに沿って考えを進める手法です。参加者全員で過去をふりかえると、未来に向けての兆しがキラリと光って見えました。2014年は創業10年をむかえ、今まで培ってきた様々なノウハウやスキルを活用したり学会で報告したりする「まとめ」の年でもありました。みなさまのご支援の賜物と感謝しております。新たな気持ちで次の10年にむけて取り組んで参ります。